

味覚検査を受けられた方へ

この度、東京歯科大学および東京歯科大学短期大学において下記内容にて研究を行うこととなりました。内容をお読みになり、ご理解いただけましたら、研究にご協力くださいますようお願いいたします。

1. 研究課題名

脂肪酸に対する味覚感受性と食生活（脂肪摂取量）との関連

2. 研究目的

「濃い味の食事によって味覚に鈍感になった」と聞きますが、鈍感になったことで消化吸収が遅れ、満腹感が起こりにくくなるかもしれません。そこでこの研究では食事と味覚を調査して、生活習慣病の予防に役立てようと考えています。

3. 研究方法

調査の対象となるのは2019年6月13日放送のNHK「クローズアップ現代+」または、10月27日放送のTBS系列「健康カプセルゲンキの時間」の収録時に同意を得られた、33名の成人男女です。すでに同意していただきアンケートと味覚検査を実施しましたが、ご協力で得られたデータ間の関連性を統計学的に解析・分析後、学会や論文で発表し、生活習慣病の予防に役立てたいと思います。この発表で個人が特定される情報は記入されません。本研究で得られた記録は、研究の終了後5年または研究の最終報告を行った日から3年のいずれか遅い日まで保管後、廃棄されます。

4. 研究期間

倫理審査委員会承認後(2020年1月23日) ～ 2022年3月31日になります。

5. 個人情報等の取り扱い

本研究の成果は、国内外の学会において学会発表、または論文上で発表する予定ですが、その場合にも個人の特定につながる情報が出ることはありません。

6. 研究に関する情報公開の方法

研究に参加する方は研究の目的、方法、実施期間などの情報を得ることができますので、ご質問があれば一番下にある連絡先にご連絡ください。この際も個人情報は保護されます。

7. 研究協力者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

研究にご協力いただくために生じる新たなリスクはありません。

8. 倫理審査委員会の承認

本研究は、東京歯科大学倫理審査委員会の審査を経て、学長の承認を得ております。

9. 研究協力への同意と撤回の自由

ご自分のデータを使用されたくない場合は、下記担当者までお申し出ください。その際は、不同意書をお渡しいたしますので、必要事項をご記入の上ご提出をお願い致します。それによって実験参加者が不利益な扱いを受けることはございません。

10. 費用等に関すること

本調査の実施にあたり経済的負担をお願いすることはありません。本研究にかかる費用は、科学研究費補助金か講座研究費から支出されます。

お問い合わせ先

本研究に関するご質問やご意見がある場合は、下記へご連絡下さい。

研究責任者（情報管理責任者）	東京歯科大学口腔科学研究センター	安松啓子（准教授）
連絡先		E-mail yasumatsuk@tdc.ac.jp
	東京歯科大学短期大学	永井由美子（講師）
		電話 03-6380-9297
		E-mail ynagai@tdc.ac.jp